ロータリー２０２５～２０２６年度
UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう
第２８４０地区　２０２５～２０２６年ロータリーのテーマ
館林ロータリークラブ会報
R.I 加盟承認１９５８年６月２日
Club　ID　　１３９５６

２０２５年１２月１２日(金)　第３２６２回例会報告（Ｎｏ，２０）

点　鐘・ソング　奉仕の理想

― 会　長　挨　拶 ―

本島　克幸　会長

今年も残すところあとわずかとなりました。ご多忙の中、そして冷え込む中、本日もこのように多くの方にご出席いただき、心より感謝申し上げます。さて、師走に入り、会員の皆様におかれましては、それぞれの事業所やご家庭で、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

今朝の朝刊で報じられた通り、群馬県は 11 日、2022 年度の名目経済成長率が 6.7%（全国平均 2.9%）で、現在の推計基準となった１１年度以降で初めて全国 1 位になったと発表されました。1 人当たりの県民所得も過去最高額の 346 万 7 千円で、全国 5 位でした。関東では東京 603 万 7 千円（全国 1 位）、茨城 348 万 1 千円（3 位）という結果です。（隣県・栃木の 22 年度の名目経済成長率は 4.0%で全国 7 位、1 人当たりの県民所得は 343 万 5 千円で同 6 位でした。）この活力を、いかに地域社会の基盤づくりに繋げ、将来にわたって持続させていくか。この点も、私たちロータリアンの責務でもあると感じます。

本日は、一般社団法人 館林アーバンデザイン 様に卓話をしていただきます。私たちの地域社会への奉仕を考える上で大切な視点である「アーバンデザイン」とは、直訳すれば「都市設計」ですが、これは単に道路や建物を設計することに留まりません。それは、都市全体を、造形・自然・歴史といった要素を統合して具体的に設計する視点です。私たちが住む館林の街が、住みやすく、訪れる人にも心地よく、そして何よりも活力を生み出す空間であるために、どのような景観や構造が必要か、ということを追求します。ロータリーが目指す「事業及び専門職務の道徳的水準を高め、社会に奉仕する機会であると認識し、これを奨励すること」に通じるのではないでしょうか。私たちロータリアンが、自らの事業や地域活動を通じて、この「都市を皆で美しく、楽しくしていく意識」を持つことこそが、地域社会への奉仕（コミュニティ・サービス）の重要な一環となります。

― お客様のご紹介 ―

（一社）館林アーバンデザイン
専務理事　浅野　康彦様
事務局長　小林　一也様
事務局　　遠藤　千晃様

― オブザーバー ―

株式会社ドクターセルズ
代表取締役　津久井　浩則様
ジョブエイド株式会社
代表取締役　高澤　みゆき様

－ 米山功労者感謝状 －

（第 11 回）　野辺　昌弘会員

（第 6 回）　横沢　淳夫会員

（第 5 回）　大澤　孝司会員

（第 5 回）　小池　敏郎会員

（第 4 回）　上野　和路会員

（第 3 回）　横田　善次会員

― 会　務　報　告 ―

本島　克幸　会長

R　7．12．　5（金）年次総会
参加者　会員３６名　　於・KOMORINU
R　7．12．　5（金）２０２６－２７年度第１回
理事・役員会
於・KOMORINU
参加者　山本　　樹・中世　吉昭・本島　克幸
正田　　隆・小池　敏郎・根岸　利正
長柄　　純・毛塚　　宏・谷田川敏幸
横田　善次・関口　　昇・飯塚　一成
藤島　　厚・齊藤　一則・長柄　光則

Ｒ　７．１２．　６（土）イルミネーション点灯式・慰労会　於・吉川
参加者　本島　克幸・藤島　　厚・荒木千津子
飯塚　一成・石川　長司・石倉　利昭
毛塚　　宏・小暮　高史・小堀　良武
齊藤　一則・鈴木　　誠・関井　宏一
関口　　昇・関口　良幸・多田　善洋
中世　吉昭・長柄　　純・根岸　利正
羽鳥　紫乃・堀越　貴之・堀越　丈礼
本間美儀男・松本　隆志・森田信一郎
安間　崇人・谷田川敏幸・山本　　樹
横田　善次
米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ

今 後 の 予 定

Ｒ　７．１２．１４（日）青少年交換委員会
対象者　荒木千津子　　於・サンダーソンホテル
Ｒ　７．１２．１４（日）青少年交換学生を囲むクリスマス会
対象者　荒木千津子　　於・サンダーソンホテル
Ｒ　７．１２．１４（日）青少年交換受入学生オリエンテーション
対象者　荒木千津子　　於・ホテルサンダーソン
Ｒ　７．１２．１８（木）クリスマス家族例会　於・文右衛門ホール
Ｒ　７．１２．２１（日）ボーイスカウト館林第１団餅つき大会
対象者　本島　克幸　　於・茂林寺裏山
Ｒ　７．１２．２６（金）２０２６－２７年度第２回理事・役員会　於・発酵レストランジョイハウス別館
Ｒ　８．　１．　８（木）令和８年議員新年会　於・館林市文化会館「アザリアホール」
対象者　本島　克幸
Ｒ　８．　１．１４（水）（一社）館林青年会議所新年祝賀会
対象者　本島　克幸　　於・ニューミヤコホテル館林
Ｒ　８．　１．２４（土）米山奨学生選考会
対象者　齊藤　一則　　於・前橋問屋センター会館
Ｒ　８．　１．２５（日）職業奉仕セミナー　於・前橋問屋センター会館
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・飯塚　一成
Ｒ　８．　１．３１（土）米山梅吉記念館研修旅行　於・米山梅吉記念館
対象者　齊藤　一則・米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ
Ｒ　８．　２．　４（水）第３回公共イメージ・ＩＣＴ推進委員会
対象者　長柄　光則　　於・ガバナー事務所
Ｒ　８．　２．　７（土）第４分区Ｂ　ＩＭ　於・ニューミヤコホテル館林
Ｒ　８．　４．２２（水）第４分区Ａ・Ｂ９ＲＣ親睦チャリティゴルフ大会　　於・鳳凰ゴルフ倶楽部
Ｒ　８．　６．１３（土）～１５（月）親睦家族旅行　於・台湾

― 幹　事　報　告 ―

藤島　　厚　幹事

１．例会場・例会時間の変更
２．会報、週報
３．その他

◆ガバナー事務所

①米山梅吉記念館研修旅行のご案内
【日　　時】２０２６年１月３１日（土）
７：００出発～帰着１８：３０頃
【集合場所】ＪＲ高崎駅東口
【参加費】奨学生　無料
地区委員　１０，０００円
【対象者】齊藤　一則
米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ

②第３回公共イメージ・ＩＣＴ推進委員会開催のご案内
【日　時】２０２６年２月４日（水）
１５：３０～１７：００
【会　場】ガバナー事務所
【対象者】長柄　光則

③青少年交換学生を囲むクリスマス会にご参加いただく方へのご案内
１，０００円程度のプレゼントを各自１点持参

④年末年始休暇のお知らせ
【期　間】１２月２９日（月）～
２０２３年１月７日（水）
【緊急連絡先】代表地区幹事　樋口　哲雄
携帯電話　０９０－３５７７－５２２２

⑤インターアクト海外研修本年度中止のご案内
台湾での交流先が一校廃校となり交流先が新北市立三重高級中学のみとなりました。
この国際交流事業は２５６０地区（新潟地区）との合同事業として活動しております。現在の状況といたしまして隔年での輪番制となりました。
交流輪番
２０２４－２５年度　２８４０地区（群馬）
※２０２５－２６年度　２５６０地区（新潟）
２０２６－２７年度　２８４０地区（群馬）
本年度は２５６０地区（新潟）が担当をし来年度は２８４０地区（群馬）にて担当いたします。
今後の訪台予定２０２７年３月末予定となります。
またご案内いたしますので来年度のご参加のほど宜しくお願い致します。

⑥１２月末・１月の会員入退会登録についてのご案内

◆（公財）ロータリー米山記念奨学会

米山功労者感謝状および記念品のご送付

第１１回米山功労者　野辺　昌弘会員
第　７回米山功労者　坂村　吉保会員
第　６回米山功労者　横沢　淳夫会員
第　５回米山功労者　大澤　孝司会員
　　小池　敏郎会員
第　４回米山功労者　上野　和路会員
第　３回米山功労者　横田　善次会員
第　１回米山功労者　羽鳥　紫乃会員

◆（一社）館林青年会議所

新年祝賀会開催のご案内

【日　時】２０２６年1月１４日（水）１９：３０～
【会　場】ニューミヤコホテル館林
【会　費】７，０００円
【対象者】本島　克幸

◆社会福祉法人館邑会

①新年会開催のご案内

【日　時】令和８年１月３１日（土）
　　１８：００～２０：００
【会　場】館林市文化会館　宴会場「アザリア」
【会　費】７，０００円
　　（当日受付にて集金いたします）
【対象者】長柄　　純・毛塚　　宏

②「ようこうだより」のご送付

◆館林商工会議所

「商工たてばやし　№５０４」のご送付

― 委　員　会　報　告 ―

クリスマス例会、当日準備のご案内

親睦活動委員会　小池　和敏　副委員長
出席委員会　小池　和敏　委員長

例会出席報告

通算３２６２回例会

会　員　数 出席率算出会員数	５５名 ５３名
出 席 者 数	３６名
欠 席 者 数	１７名
出　席　率	67.92%
前前回修正	63.46%～76.92%

ニコニコ BOX 委員会　長柄　光則　委員長

― ニ コ ニ コ Ｂ Ｏ Ｘ ―

☆本島　克幸会長　大変頂きました
一般社団法人館林アーバンデザイン様、卓話はありがとうございます。

☆２０２６～２０２７年度理事・役員一同
大変×６頂きました
1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

☆山本　樹副会長　頂きました
一般社団法人館林アーバンデザイン浅野様、小林様、遠藤様、本日卓話ありがとうございます。

☆藤島　　厚幹事　頂きました
館林アーバンデザインの皆様、卓話よろしくお願いします。

☆野辺　昌弘会員　頂きました
米山功労賞をいただきましたので。

☆齊藤　要会員　大変×２頂きました
39 年間お世話になりました。良き友達にも恵まれ、楽しいロータリー人生でした。今後とも市内などでお世話になることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

☆小暮　高史会員　大変頂きました
齊藤要会員さん、ご卒業おめでとうございます。夫婦円満で楽しい生活を歩んでください。

☆小池　敏郎会員　頂きました
米山功労者表彰をいただきましたので。

☆大澤　孝司会員　頂きました
本日、米山功労者表彰をいただきましたので。

☆多田　善洋会員　頂きました
館林アーバンデザインさん、卓話ありがとうございます。代表理事は正田会員で、私は理事を務めさせ

ていただいています。本日よろしくお願いいたします。

☆谷田川　敏幸会員　大変頂きました

先週の総会にて正田会員が 70 周年時の会長予定者に決定いたしましたので、頑張ってください。

☆横田　善次会員　頂きました

米山賞 3 回いただきました。ありがとうございます。

☆根岸　利正会員　頂きました

齊藤要先輩大変お世話になりました。父が店で待っておりますので、ぜひお気軽にお呼びください。また、ニューミヤコホテルの皆様ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

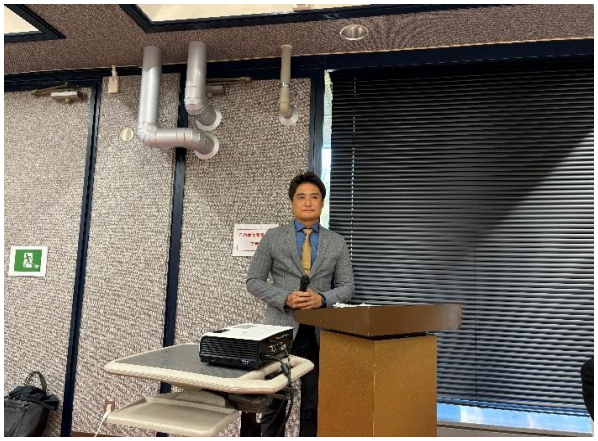
☆小池　和敏会員　大変頂きました

12 月 18 日（木）はクリスマス例会です。会場運営・親睦活動委員会の皆様は 16 時 30 分より準備のご協力お願いします。また、先日の妻の誕生日に素敵なお花をいただき、妻も喜んでおりました。ありがとうございました。

☆正田　隆会員　大変頂きました

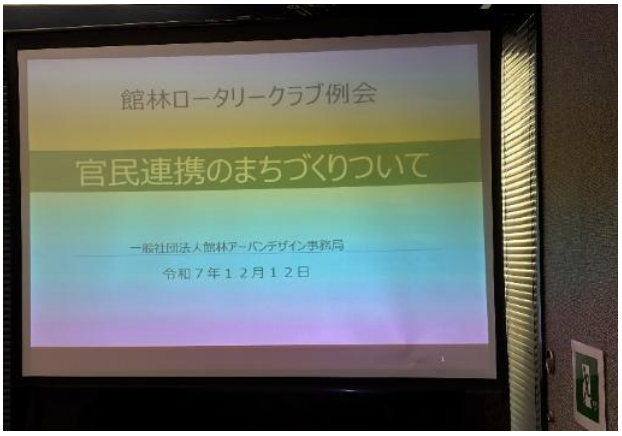
当社は中小企業中小企業庁主催のグッドカンパニー賞に選ばれました。地方の企業として光栄に存じます。また、今回、会長予定者にも選ばれ、二重の喜びです。

－卓　話－



プログラム・健康増進委員会　安間　崇人委員長

（一社）館林アーバンデザイン
専務理事　浅野　康彦様
事務局長　小林　一也様
事務局　　遠藤　千晃様



皆さんこんにちは。一般社団法人、館林アーバンデザインの専務理事を務めております浅野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。当法人は運用開始後 1 年 9 ヶ月が経過しました。官民連携のまちづくりを進めるため、パイプ役として設立した、まちづくりをマネジメントして、持続可能なまちにするということを目標に作られた法人でございます。その中では、公的不動産において低利用なところがございます。その場所に都市機能誘導、これは皆様が生活する上で利便となる施設を誘致し、まちの賑わいを作ろうというものでございます。この後、局長の方から細かい説明がありますので、私の方からは設立して 1 年 9 ヶ月が経ったことを報告させていただきました。

続きまして、私、小林からスクリーンを使いまして説明させていただきます。内容が概要となってしまいますがご承知いただければと思います。まず館林市の現状といたしまして、市が抱える課題の一例を紹介させていただきます。その課題に対応するために推進している計画などについても簡単ではございますがご説明させていただきます。館林アーバンデザインが現在

進めている官民連携事業や役割について説明し、最後に事例を紹介させていただきますので最後までお付き合いいただければと思います。よろしくお願いいたします。

館林市の人口につきましては、皆様ご承知の通り2005年、平成17年をピークに減少し続けている状況にございます。現在の人口、11月現在の統計では73,215人ではございますが、画面の方は令和5年度の推計値になっております。2025年今年度は72,820人の推計が、40年後には45,509人ということで約60%にまで減ってしまう予想になっております。グラフの方からは、人口のうち65歳以上の方が占める割合が、40年で20%近く上昇するということも読みとることができます。

資料にはございませんが人口減少以外にも市が抱える課題はたくさんございます。例えば、高度経済成長期などに建設されました公共施設やインフラ施設などの老朽化もございますし、人口が減ってくれば税収が減っていくということで、今後財政状況も逼迫していくことは想像できると思います。そのため、館林市では総合計画をはじめとしました各種計画に基づいて、そのような課題に対応していく取り組みを進めているところでございます。

ここからは都市計画のお話させていただきます。都市計画としましては、人口減少や逼迫する財政状況に対応しながら、誰もが暮らしやすいまちをつくり、持続していくために、行政機能や商業機能などの都市機能と呼ばれるもの、そして居住機能、住んでいる方を集約するコンパクトな、まちづくりを進めるために、令和元年に館林立地適正化計画というものを策定いたしました。館林立地適正化計画はコンパクトシティを目指すために、行政機能や商業機能をはじめとした都市機能の誘導する区域をまちの中に設定し、都市機能誘導を進めるとともに、右側の図ようにまちづくりと連携した交通インフラの強化で、人口規模に見合ったコンパクトシティ、プラスネットワークというものを進めているところでございます。

言葉だけですとなかなかイメージできませんので、次のスライドでコンパクトなまちを目指す姿を少しイメージさせていただきました。こちらに駅がございまして、駅周辺に商業施設や医療施設、金融機関などが充実していて、周辺の住んでいる方が便利にアクセスしやすい道路がある。また、鉄道や公共交通機関、バスなどで便利に移動ができるというような、生活に必要な機能をコンパクトに集約したまちを目指す必要があると考えております。

現在の館林駅周辺の都市機能誘導区域が設定されている範囲に、どのくらい都市機能と呼ばれる施設があるかをご覧いただきます。画面の通り、真ん中に館林駅がございまして、古くから市街地を作っております。駅の東側に行政の機能や小中学校、幼稚園保育園などの都市機能が集中していることがわかると思います。一方で駅の西側になります。こちらについては現在、区画整理事業として新たに市街地の形成を進めているところでございますので、都市機能と呼ばれるものの立地が少ないことがご覧いただけるかなと思います。

ここで視点を変えまして、先程駅の西側区画整理を進めているということで、こちらの区画整理の特徴としましては、未利用な市有地や区画整理で生み出された公園予定地など、緑のところが主に公園となり、ピンク色のところが市有地となっております。現在、多くが空き地の状態でございます。そのうちいくつか紹介させていただきますと、スクリーンを見ていただくと、駅の西口の駅前広場のすぐ北側にある市有地でございます。次にこちらが駅西通り線、厚生病院の方に駅前広場から進みまして右手にある空き地も館林市の市有地になっております。最後にクスリのアオキさんから少し北側に入った大きな空き地、こちらは区画整理で生み出された公園予定地になっております。まだまだたくさんございますが、このような市の土地が維持管理、除草などをしているだけの状況となっております。そのため駅の東側と同じように都市機能や居住を誘導する区域として設定されている駅の西側につきましても、公的不動産を使って都市機能を誘導していく必要があると考えております。

次に官民連携事業について説明させていただきます。我々が進めております都市機能誘導する事業につきましては、民間の事業者さんの創意工夫などを活用しまして、効率的な事業を進めていく検討をしているところです。

官民連携事業はPPPとかPFIなど聞いたことがある方もいらっしゃると思いますが、館林市でも既にPFI事業ということで、給食センターや指定管理者制度を使った、市の斎場や障害者総合支援センターなども運営されています。続きまして、包括的民間委託という

ことで公園の維持管理などももう既に導入しておりまして、我々アーバンデザインが今回、官民連携事業で進めようとしているのが公的不動産の活用事業を進めているところでございます。

次に我々アーバンデザインと行政の役割について説明させていただきます。行政につきましては、立地適正化計画、コンパクトなまちづくりを推進していく役割を担っています。具体的には区画整理の事業や道路、箱物整備など、都市基盤整備の部分を行政が担う必要があると考えております。

我々アーバンデザインは不動産を使って目指そうとしていることは、例えば館林市の市有地をはじめとした公的不動産は、売ればお金になりますし、財源になります。売却してしまいますと、購入した方は自由にその土地をもちろん使うことができます。こちらは館林駅の西側をイメージした図になっておりまして、例えばこのような市有地がございます。これを自由にすることができるとなりますと、駐車場が増えてしまったり、太陽光発電施設が駅前にできてしまったり、資材置き場になってしまったりということがございます。それを館林市と我々アーバンデザインが連携しまして、館林市が立地適正化計画で目指すまちにしていくために、市有地に商業施設や宿泊施設などを誘致して、まちづくりをコントロールしていきましょうというところが目指しているところになっております。

次に事例を紹介させていただきます。駅前の広場のところの市有地の活用事例になります。黄色い部分が今回活用する場所になっておりまして、こちらにつきましては、令和６年に事業者を特定させていただきまして、その後契約に向けた協議を行い、令和７年に事業用定期借地権設定契約という契約を結んで現在工事に着手している状況です。こちらは何ができるかといいますと、店舗兼醸造場ということで、クラフトビールの醸造場と飲食店が兼ね備えた施設が来年の春に完成を目指して工事を進めているところです。市の土地や公園予定地を利活用する際に、我々で勝手に決めているわけではなく、地域の住民の方々や事業者の方々と意見交換やアンケート調査など、ニーズを把握しまして活用方針を決めて、事業者を公募した上で決定しているところでございます。

最後に我々一般社団法人アーバンデザインですが、官と民が館林市のまちづくりについて考え、実行するために、行政を補完する組織として昨年２月に設立いたしました。コンパクトなまちは急にできるわけではございませんので、まずは公的不動産へ都市機能の誘導を皮切りに、将来的には館林駅の東側の既成市街地の方にも事業を展開していければという構想を思っております。公的不動産の利活用をはじめとしました、事業による収益を確保して、その収益を民間事業者さんへの支援や補助などでまち作りに還元していくことを目指して、日々業務に取り組んでいるところでございます。ご出席の皆様におかれましても様々な形で館林の方にご貢献いただいているところでございますが、市の土地活用の際のご相談やまち作りについて、何か聞きたいことなどございましたら、我々法人までお申し付けいただければと思います。以上をもちまして官民連携のまちづくりについての説明を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

小池　和敏Ｓ・Ａ・Ａ

＜本日のお食事＞

すき焼き

－イルミ点灯式(12/6)の様子－

－慰　労　会　の　様　子－

◆例会日　毎週金曜日　12：10 より
◆例会場　ニューミヤコホテル館林（館林市文化会館内）
館林市城町 3-1　TEL0276-50-1541
◆事務所　館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32　TEL･FAX 72-8181
◆E:mail　tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

第 2840 地区ガバナー　竹中　隆
会　　長　本島　克幸　　副会長　山本　　樹
幹　　事　藤島　　厚　　副幹事　中世　吉昭
会報　委員　森田信一郎　　斉藤　正人
発行責任者　本島　克幸　　編集責任者　森田信一郎